

今夏の節電対策について

平成 25 年 5 月 23 日
関 西 広 域 連 合

関西電力管内における電力需給については、今夏を通じて一定の供給予備力が確保される見通しであるが、需給の安定に向けては、定着が見込まれる節電の着実な実施を、府県民や事業者の皆様呼びかけていく必要がある。

関西広域連合としては、今夏の電力需給状況を踏まえ、産業活動やライフライン機能等の維持、高齢者等の健康にも留意しつつ、国や関西電力株式会社と連携・協力し、以下のことを進めていく。

今夏の節電の呼びかけ内容

昨年並の節電の着実な実施（平成 22 年夏と比べて 9%削減を目安）

- 期間：平成 25 年 7 月 1 日（月）～平成 25 年 9 月 30 日（月）の平日
（8 月 13 日（火）～15 日（木）を除く）
- 時間：9：00～20：00
- 留意事項
 - ・ 産業活動や病院、鉄道などのライフライン機能、都市機能等の維持に支障を生じない範囲での協力をお願いします。
 - ・ 高齢者や乳幼児、体調が悪い方のおられるご家庭には、健康上支障のない範囲での節電をお願いします。

1 呼びかけ方法

統一したキャッチコピー、ロゴマーク（みんなで節電アクション）を活用し、関西が一体となって節電に取り組む姿勢を示す。

(1) 全般

- ・ 広報紙、ホームページ、メルマガ等による広報
- ・ 関西夏のエコスタイルの推進

(2) 家庭への働きかけ

- ・ 効果的な節電メニューをわかりやすく示した節電チラシの作成、ホームページ掲載、配布

(3) 産業、業務部門への働きかけ

- ・ 効果的な節電メニューをわかりやすく示した節電チラシの作成、ホームページ掲載、配布
- ・ 関係団体との連携等による節電対策の働きかけ

〔関西電力の取組み〕

- ・ ホームページにて電力需給のお知らせ（でんき予報）
- ・ ホームページや検針票等にて「節電・省エネのPR」、「はぴeみる電」の加入拡大に向けた取組み
- ・ 産業・業務部門への取組み
 - 緊急時のネガワット特約（通告調整特約）
 - BEMSアグリゲーターを活用した需要抑制の取組み

2 家族でお出かけ節電キャンペーン

統一したキャンペーンマークを使用するとともに、環境省の地球温暖化防止国民運動事業が推進する「クールシェア」との連携により、広く周知を図る。

3 構成府県市の率先的な取組み

- ・ 電力使用量の削減（照明の間引き、空調温度管理の徹底など）
 - ・ ノー残業デーの徹底、サマータイムの実施など
 - ・ 関西夏のエコスタイルの徹底
 - ・ LED照明・信号機等、省エネタイプの機器の率先導入など
- ※具体的な取組みは、構成府県市で検討中

4 電力需給ひっ迫時の対応

万一の電力需給ひっ迫時には、国や関西電力と連携の下、関係機関や市町村、府県民等への周知、節電の要請を行う。

5 その他（関西電力との連携）

- ・ 最大電力と気温の推移や、用途別・地域別の電力量実績の定期的な報告
- ・ 供給力に支障をきたすトラブルの発生等の連絡（発生次第）

みんなで節電アクション！（夏のご家庭編）

この夏、関西電力管内では、府県民や事業者の皆様の節電を見込んだ上で、電力不足にはならない見通しです。皆様には、日頃から無理なく節電に取り組んでいただきますよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

今夏の節電のお願い

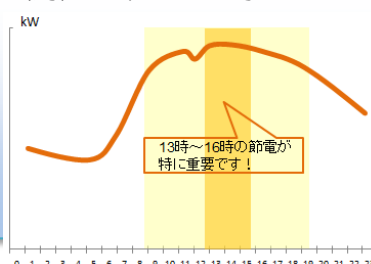
○内容：昨年並の節電の着実な実施（平成22年夏と比べて9%削減を目安）

※ 目安の数値は、国の電力需給見通しにおいて見込んでいる関西電力管内の定着節電量である
平成22年夏比▲8.7%を考慮して設定

○期間：平成25年7月1日（月）～平成25年9月30日（月）の平日 9時から20時まで
（8月13日（火）～15日（木）を除く）

○留意事項

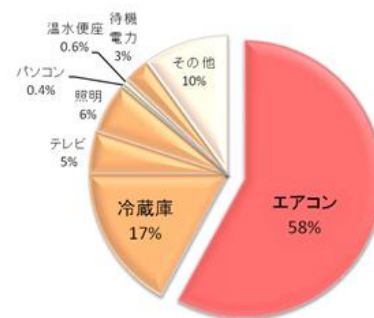
- ・高齢者や乳幼児、体調が悪い方のおられるご家庭には、健康上支障のない範囲での節電をお願いします。



具体的には、エアコン 28℃設定や不要時のこまめな消灯など、昨夏に取り組んでいた普段の節電行動を、引き続き着実に実施してください。

在宅世帯の夏の昼間（14時頃）の電気機器の使用例

節電行動の例	節電効果
冷房の設定を26℃から28℃にする。	10%
すだれやよしずで窓からの日差しを和らげる。	10%
エアコンを消し、扇風機を使用する。	50%
冷蔵庫の設定温度を「強」から「中」に変え、扉を開ける時間を減らし、食品を詰め込みすぎない。	2%
テレビは省エネモードに設定し、画面の輝度を下げ、必要な時以外は消す。	2%
日中は不要な照明を消す。	5%



出典：資源エネルギー庁推計

次のようなことに取り組まれると、将来にわたって節電や省エネが継続されます。

- 省エネ性能の高い家電製品、LED照明への買い替え
- 二重窓にするなど住宅の断熱性能の向上
- 太陽光発電や家庭用燃料電池の導入

「家族でお出かけ節電キャンペーン」にもご参加をよろしくお願いいたします。

省エネ型ライフスタイルへの転換に向けて、



みんなで節電アクション！(夏の産業・業務編)

この夏、関西電力管内では、府県民や事業者の皆様の節電を見込んだ上で、電力不足にはならない見通しです。皆様には、日頃から無理なく節電に取り組んでいただきますよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

今夏の節電のお願い

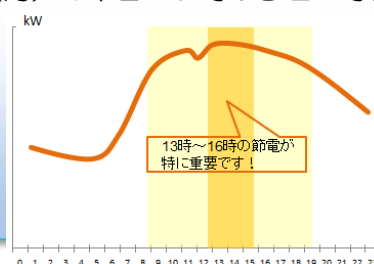
○内容：昨年並の節電の着実な実施（平成22年夏と比べて9%削減を目安）

※ 目安の数値は、国の電力需給見通しにおいて見込んでいる関西電力管内の定着節電量である
平成22年夏比▲8.7%を考慮して設定

○期間：平成25年7月1日（月）～平成25年9月30日（月）の平日 9時から20時まで
（8月13日（火）～15日（木）を除く）

○留意事項

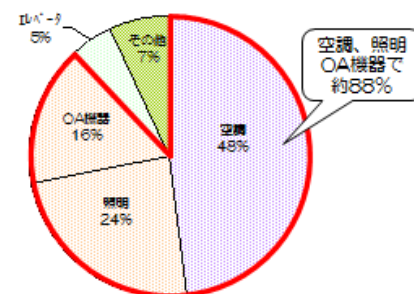
- ・産業活動や病院、鉄道などのライフライン機能、都市機能等の維持に支障を生じない範囲でのご協力をお願いします。



例えばオフィスでは、空調、照明、OA機器における節電対策など、昨夏に取り組んでいただいた普段の節電行動を、引き続き着実に実施してください。

節電行動の例	節電効果
執務室の冷房の設定を26℃から28℃にする。	4%
使用していないエリアの冷房を停止する。	2%
執務エリアの照明を間引きする。	1割につき2～3%
使用していないエリア（会議室、廊下等）の消灯を徹底する。	3%
長時間席を離れるときは、OA機器の電源を切るか、スタンバイモードにする。	3%

一般的なオフィスビルにおける用途別電力消費比率



出典：資源エネルギー庁推計

次のようなことに取り組まれると、将来にわたって節電や省エネが継続されます。

- 省エネ性能の高い機器への買い替え・リース替え
- 自然光の取り入れ、照明のLED化
- 太陽光発電やコージェネレーションシステムの導入
- BEMSによる見える化・エネルギー管理

「関西夏のエコスタイル」の軽装勤務にも、ご協力よろしくお願いいたします。

省エネ型ビジネススタイルへの転換に向けて、



参考

「みんなで節電アクション」ロゴマーク



「家族でお出かけ節電キャンペーン」キャンペーンマーク



WANPUG